

## 美浜町農業集落排水事業経営戦略（案）に対するパブリックコメント(意見募集)の結果

### 【パブリックコメント（意見募集）の実施方法】

- (1) 意見募集期間 令和3年3月5日（金）から令和3年3月25日（木）まで
- (2) 案の公表方法 水道課窓口及び美浜町ホームページ
- (3) 周知の方法 美浜町ホームページ及び回覧板（令和3年3月）に掲載

### 【実施結果】

- (1) 意見の提出者数 1名

### 【意見・提言の内容及び町の考え方・対応方針】

計画(案)該当頁等	意見・提言の内容	町の考え方・対応方針
全体	<p>本来、農業集落排水等の集合排水処理施設においては、イニシャルコストは高額であるが、ランニングコストが安価であることが特徴となります。</p> <p>然しながら、小野浦施設においては利用率が低く、人口減少も加わり高コストへの推移は避けられません。更には施設の老朽化に伴う定期的な修繕計画も必要になるでしょう。</p> <p>上記を踏まえ、現状を呼び今後の小野浦地区状況を見据えた上でのエリア単位や、個別での浄化槽設置を提言致します。</p> <p>本提言におけるメリットとしては次となります。</p> <p>1) 浄化槽設置コストは比較的安価であり、FRP製浄化槽にあっては短期間での設置が可能である。</p> <p>2) エリア単位や、個別設置浄化槽においては、現施設の管路が大きく縮小できるため、管路のメンテナンスや修繕費についても圧縮が可能である。</p> <p>3) 距離の近い排水源をエリア単位で整備、又は排水源単位で個別に浄化槽を整備すれば、将来の処理人口の増減にもフレキシブルに対応する事が可能である。</p>	<p>貴重な御意見・御提言を戴きありがとうございます。</p> <p>令和元年度に、汚水処理施設整備方針検討業務委託で個別設置浄化槽とエリア単位の浄化槽を設置した場合の比較検討を実施しました。</p> <p>委託業務の報告書では補助金等を最大限利用した結果、農業集落排水が有利という結果になっております。</p> <p>メリットについても御提言のとおりであります。が、不要な管路の撤去費用と必要管路の更新費用と補助率の違いで、結果的に現在時点では農業集落排水継続が有利となります。</p> <p>今後、技術革新等で浄化槽等が有利となる場合は再度検討実施を行いライフサイクルコストの削減と、経営改善を目指していきます。</p>